

平成20年度 松山市

介護保険利用状況の公表

平成12年度から始まった介護保険制度は、今年度で10年目を迎えました。高齢化が進む中、40歳以上の皆さんの保険料によって支えられているこの制度は、皆さんの生活を支える重要な制度となっております。今回、平成20年度の松山市介護保険利用状況をお知らせします。

介護サービス利用者が増加

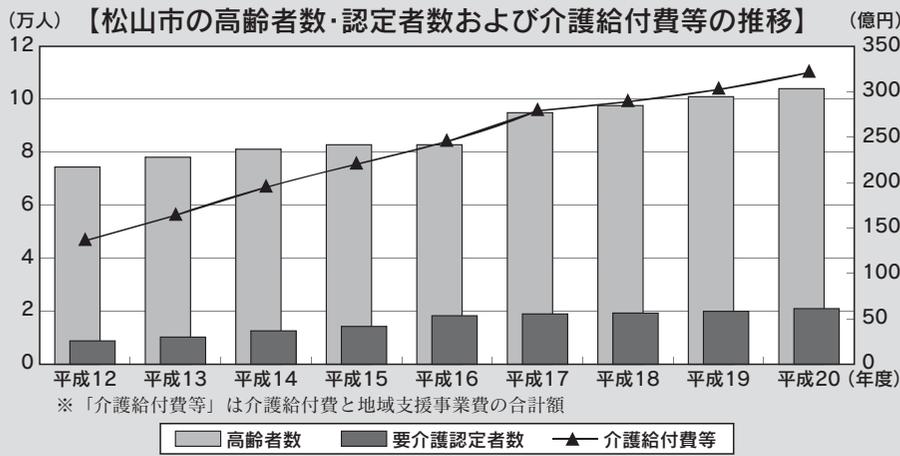
本市の65歳以上の人口は年々増加しています。平成20年度には10万8118人となり、本市の5人に1人が65歳以上の高齢者となっております。

介護サービスが必要と認定されている人(認定者数)も年々増加しており、平成20年度は前年度に比べて約70

0人増え、2万2349人となっております。高齢化が一層進み、介護サービスを利用する人が増えています。

介護給付費 地域支援事業費も増加

介護サービスが必要と認定されている人(認定者数)も年々増加しており、平成20年度は前年度に比べて約70



人口 ※	512,922人
高齢者 (65歳以上) の人口 ※	108,118人
認定者数 ※	22,349人
介護給付費	319億318万円
認定者1人当たりの介護給付費	約1,427,500円
地域支援事業費	4億2,437万円
高齢者1人当たりの地域支援事業費	約3,900円

※人口、認定者数は平成21年4月1日現在

介護などが必要な人を支援するサービスに掛かる費用

介護状態になることを予防するとともに、要介護状態となつた場合にも、可能な限り地域において自立した日常生活を営めるように支援するサービスに掛かる費用

平成20年度の介護給付費は前年度より約13億円増え、319億318万円、地域支援事業費は前年度より約1億900万円増え、4億2437万円でした。

サービス別にみると、ヘルパーの訪問により生活援助や身体介護を受ける「訪問介護」、施設などへ通い食事や入浴などの援助を受ける「通所介護(デイサービス)」などの居室サービスが145億7904万円と全体の約半分以上を占めています。

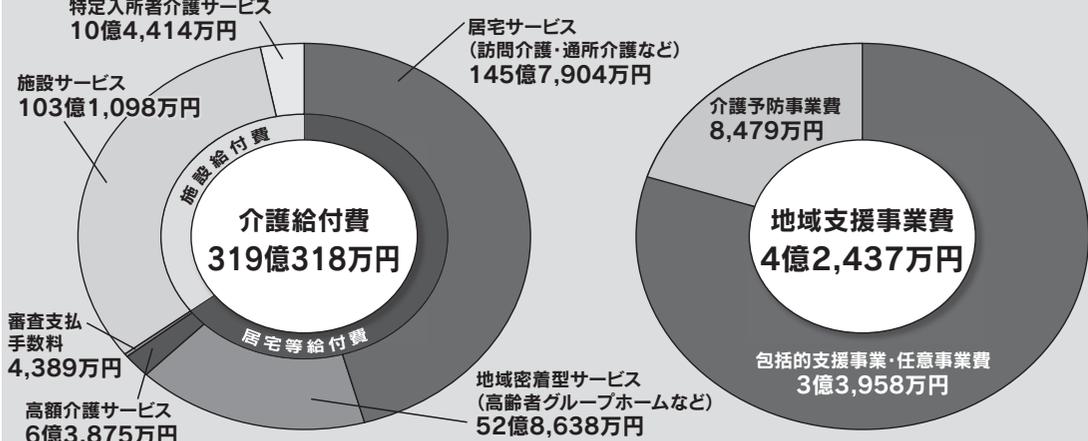
介護を受けるため施設へ入所する施設サービスが103億1098万円、グループホームなどへ入居する地域密着型サービスが52億8638万円となっております。

また地域支援事業費のうち地域包括支援センターの運営や高齢者の介護予防を目的とした「ふれあいいきいきサロン事業」などを行う包括的支援事業・任意事業が3億3958万円、生活機能の向上につながるサービスを提供する介護予防事業が8479万円となっております。

保険料は介護保険制度を運営するための大切な財源です

介護サービス(地域支援事業を除く)を利用する際に、利用者は費用の1割を負担します。残りの9割は法律によって、国・県・市の公費が50%、40~64歳の人が納める介護保険料が31%、65歳以上の人の介護保険料が19%を負担しています。

【平成20年度介護給付費等の内訳】



【平成20年度介護保険事業の財源構成】

種別	介護給付費					地域支援事業費				
	国負担金	県負担金	市負担金	65歳以上の人の保険料	40~64歳の人の保険料	国負担金	県負担金	市負担金	65歳以上の人の保険料	40~64歳の人の保険料
居室等給付費	25%	12.5%	12.5%	19%	31%	40.5%	20.25%	20.25%	19%	31%
施設給付費	20%	17.5%				25%	12.5%	12.5%		



お問い合わせは、介護保険課 ☎ 948 6840・FAX 934081

うちの学校日本一

総合的な学習の時間 ⑧

津和地小学校



高学年の子どもたちは手際よく自分の畝を完成させ、低学年の手伝いや学校用の畝も作っていきます。完成後には、サツマイモの苗を一つ一つ丁寧に植えていきました。

10月中旬には芋掘りをしました。昨年は収穫量が少なかったため、最初不安そうな表情を見せていた子どもたちも、全部で6kgのお芋を収穫す

『津和地っ子タイム』

4月下旬に全校児童で学校園を耕し、畝作りを行いました。毎年行っているため、鎌をふる姿も様になっています。

山口・広島との県境に程近い津和地島にある本校は、全校児童11人の小規模校で、少人数のよさを生かした活動を行っています。

収穫後、そのサツマイモを使って、スイートポテトを作りました。講師は島のお母さんたちです。子どもたちの慣れない包丁裁きに、つい手を出してしまいそうになりながらも、親子で楽しくスイートポテトを作ることができました。子どもたちも積極的に皮をむいたり形を作ったりしました。

出来上がったホカホカのスイートポテトを満足そうな表情で試食する子どもたちの姿が印象的でした。

翌日、そのスイートポテトを持って島内の高山に遠足に行きました。山頂から見た瀬戸内海に浮かぶ忽那諸島の美しい景色は、きっと子どもたちの心にいつまでも残ることでしょう。

学習を通して一番難しかったのはスイートポテトの形作りでしたが、お母さんたちに優しく教えてもらい作ることができました。

(4年生男子)

自分たちで育てたサツマイモで作ったスイートポテトはとてもおいしかったです。家でもまた作りたいです。

(6年生女子)

